

## 第6回公開講演会

### プログラム

日時	昭和61年2月27日（木）～28日（金）
----	----------------------

#### 2月27日（木）午後

○ はじめに	分子研センター	諸熊 奎治
○ 新システムについて	分子研センター	柏木 浩
○ 新システムの構成と使い方	分子研センター	西本 史雄
○ 新エディタ・ASPENの使い方	日立製作所ソフトウェア開発部	鷹雅憲
○ 拡張領域、31ビットモード、拡張記憶、パラレルI/Oの利用法	ファコム・ハイタック	伊藤 洋志
○ 新システムについての質問と要望、その一		

#### 2月28日（金）午前

○ 多原子分子液体の分子動力学プログラムのベクトル化 —CCP5プログラムライブラリを参考にして—	京大理	片岡 洋右
○ 化学反応系のReactive Molecular Dynamics Simulation	京大工	川勝 年洋
○ Quantum Monte Carlo法によるSchrödinger方程式の近似解法	北大理	志田 典弘
○ S-810によるGAUS82の実行	分子研	古賀 伸明

#### 2月28日（金）午後

○ 分子積分の新しい表式とプログラム	京大理	小原 繁
○ VAXを経由したDDXによる分子研センターの利用	慶大理工	佐藤 信行
○ FORTRAN/HAP、VECTIZERの特徴と使い方	日立製作所ソフトウェア開発部	鷹明夫
○ 新システムについての質問と要望、その二 ワークショップについての意見		

